

名古屋マリオットアソシアホテル
名古屋JRゲートタワーホテル
ホテルロビー展示 「日本三大七夕祭り」一宮伝統吹流し飾り

展示期間：2019年6月7日（金）～7月8日（月）

展示場所：名古屋マリオットアソシアホテル 15階ロビー中央

名古屋JRゲートタワーホテル 15階ロビー入口付近

名古屋マリオットアソシアホテル、名古屋JRゲートタワーホテルの両ホテルでは、愛知県一宮市にて開催され日本三大七夕祭りの一つといわれる「一宮七夕まつり」の象徴「吹流し飾り」を15階ロビーに展示します。一宮市が両ホテルの雰囲気にも合うように制作した「ホテルオリジナル吹流し飾り」は、直径約60センチのくす玉と、和柄が繋がるようにデザインされた不織布を使用し、ホテルロビーを豪華絢爛に彩ります。展示方法にはホテルならではの工夫を施し、吹流し飾りを実際に触ったり、飾りをバックに撮影したりできる体験型展示を行うことでお客様に愛知県の伝統を身近に感じていただけます。

さらに名古屋マリオットアソシアホテルでは、七夕には欠かせない神聖な植物とされる「竹」を中央にあしらい、人々の願いを叶える七夕を表現します。



展示イメージ



展示イメージ



【名古屋マリオットアソシアホテル】

長さ：約3.5メートル くす玉：20個



【名古屋JRゲートタワーホテル】

長さ：約3.0メートル くす玉：12個

【一宮七夕まつり】（※一宮七夕まつり公式HPより抜粋）

一宮市民の守り神として崇敬されている真清田神社の祭神「天火明命（あめのほあかりのみこと）」の母神「萬幡豊秋津師比売命（よろずはたとよあきつしひめのみこと）」は、太古から織物の神様として知られ、そのご加護により当地方の織物業が発達したといわれています。織物と因縁の深い牽牛・織女にちなんだ、おりもの感謝祭一宮七夕まつりは、7月の最終日曜日をフィナーレとする木曜日からの4日間、全市をあげてくりひろげられます。昭和31年に始まった一宮七夕まつりは、今では市民の夏の最大イベントとして根をおろし、その飾り付けの絢爛豪華さは、仙台、平塚の七夕まつりと並び日本の三大七夕祭りの一つとして称賛されるほどで、100万人を超える人出で賑わいます。